

デンパークの四季を詠む俳句

平成三十二年春・夏の部 入選句

募集期間 平成三十年三月一日から平成三十年八月三十一日
投句総数 一般の部 二百句 / 小中学生の部 三十三句

■一般の部（入選句 十五選）

チューリップ大欠伸する青天井

愛知県高浜市 安藤 明女

花も葉も風にまかせて夏の園

愛知県安城市 岩瀬 繁代

盆栽のヒトリシズカに話しかけ

愛知県安城市 岩瀬 弓彩

父の日に夫を誘えりデンパーク

愛知県安城市 岩間 喜久代

満員のメルヘン号や風光る

愛知県岡崎市 大原 良江

花吹雪両手を上げて子が駆ける

愛知県西尾市 金子 恵美

胴長を付けて押し行く蓮見舟

愛知県西尾市 齋藤 佳織

デンパーク木の芽新たな出会ひかな

愛知県安城市 齋藤 清子

手汗拭きチップ受け取る大道芸

愛知県刈谷市 中斎 ゆうこ

花時計下のすみれはいつ寝るの

愛知県碧南市 服部 守

花時計花の香共に廻りけり

愛知県安城市 林奈 津貴

啓蟄やつなぐ手はなす孫を追う

愛知県安城市 平岩 篤

さあ並べラッパスイセン行進だ

愛知県刈谷市 古畑 かつ江

メルヘン号待つ椅子固し夏立つ日

愛知県岡崎市 三浦 葵水

デンパーク親子二代春浴びる

愛知県安城市 村上 美代子

■小中学生の部（入選句 三選）

王様が花の服でおでむかえ

愛知県安城市 千石 みお

すべりだい口にとびこむ春の風

石川県金沢市 高木 空

デンパークとてもたのしいすべりだい

愛知県知立市 高木 宥里

俐歩

ご応募いただきありがとうございますございました